

# 備後セカンドライフくらぶだより

## 福山市内の環境施設「エフピコと下水処理場」の見学会

昨年11月12日(水)に「福山市環境関連施設バス見学」事業を利用して、福山市箕沖町の(株)エフピコ福山リサイクル工場と、広島県下水道公社芦田川浄化センターを会員17名(男性12名・女性5名)が見学した。エフピコは1962年福山パール紙工として設立され、1989年商号を(株)エフピコに改名した。主に食品トレー容器の製造・販売とスーパー等から使用済みトレーを回収し、再びトレーの原料として再生するリサイクルシステムをいち早く構築し推進している。エフピコでリサイクルできるものは

プラスマーク付きのトレー  
(爪楊枝が刺さるトレー)

PETマーク付きのペットボトル

芦田川浄化センターは福山市・府中市の公共下水道区域の一般家庭や工場・事業所等から配水された汚水(一地域の雨水を含)のゴミを除去して、バッキ沈殿池→最初沈殿池→反応タンク→最終沈殿池→急速濾過池→急速砂ろ過池→汚泥処理施設へ。汚泥処理施設でガスと消化汚泥に分離されてガスはタンクへ、消化汚泥はペレットへと加工処理されてバイオマス燃料として有効利用されていく。下水処理場で困ることは処理できない繊維・木片・プラスチック(容器・フィルム・シート等)等が流れてくるのと大雨の時に能力を上回ることである。

